

ネットワーク



△天間の天神さんは地域の代表的な祭り



天 間

心豊かなふれあいと 連帯感のあるまち

このコーナーでは、公民館単位に各地区の話題や人物を紹介します。あなたの地区でのちょっとしたこぼれ話、出来事、ご意見などありましたらご連絡ください。10月は鷹岡、11月は丘地区です。連絡先…市内永田町1-100 市広報広聴課☎51-0123 内線2822、締め切りは毎月15日です。

天間地区は、昭和五十九年四月鷹岡地区から分離して新しい地区を形成しました。

地区には、県道鷹岡柚木線（通称旧道）、国鉄身延線、国道一三九号線が南東から北西へ通り、国鉄富士根駅があります。

富士根駅は、富士製紙第二工場（現在の本州製紙富士宮工場）のためにつくられた駅ということもあって、駅周辺は製紙工場が取り囲むようになり、旧道沿いは東洋インキ工場を含め工場の多い地域です。身延線より北側国道一三九号線にかけては旧来の集落地域、国道よりさらに北側は茶畑や畑地の広がる地域でしたが、近年ベツドタウン化してきました。

また、南部の潤井川左岸は、昔ながらの水田地帯で、昭和五十四年四月、天間小学校ができました。地区には市内最大の縄文遺跡である天間沢遺跡、奈良時代の集落址である代山遺跡があり（両遺跡とも現在は宅地化が進行している）天間沢川の兩岸の台地が早くから開かれたことを物語っています。



虫歯がゼロ一家

天間南 井出さん一家

虫歯のない歯は健康のもと。一家で虫歯はゼロ、おまけに六月に行われた母と子のよい歯のコンクールでは市長賞を受賞した井出さん一家におじやました。

歯磨きのコマージュナルではありませんが、「白い歯っていいな」と思わず口に出てしまいそうな井出さん一家。市長賞を受賞したのは、お母さんの恭子さん（三十歳）と長女の千草ちゃん（四歳）。虫歯のないのはもちろん、とても美しい歯並びです。

恭子さんは「物心ついたときから虫歯にならないようしつけを受けてきた」と言うだけあって、歯の健康に意識的な生活をしてきました。

千草ちゃんを妊娠中から食事には注意し、生まれてからは小魚などをよく食べさせています。

お父さんの利近さんと恭子さんは一日三回、千草ちゃんと次女の由起ちゃんは一日二回、歯を磨きます。千草ちゃんは環境のなせるわざか、歯磨きを嫌がらず、自分から磨きます。

利近さんは「子供のころ虫歯だらけで痛い思いをしました。自分の子供には虫歯がないようにしたいと思っています」とただ一人の虫歯体験談。

余談ですが、利近さんは恭子さんの美しい口もとにほれたとか…。ごちそうさまでした。

